



高水地協ニュース

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和

○ 編集責任者 宮本多喜広

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

第 90 回高水地区（北信・須高）メーデー開催

『働く者の連帯で“ゆとり・豊かさ・公正な社会”を実現し、自由で平和な世界をつろう』をスローガンに、両会場へ 1,300 名が結集



北信地区メーデー会場

高水地協の地区メーデーは、例年同様に北信と須高の2会場において、それぞれの地連が主体者となり、地域の労働団体・単組へ参加を呼び掛けて、実行委員会形式により開催しました。

□ 北信地区メーデー

中野市・飯山市で交互に開催する北信地区メーデーは、本年飯山市の会場において 25 団体・単組 558 名の参加者により開催しました。

日 時 2019 年 4 月 27 日（土）午前 9 時～

会 場 飯山市文化交流館 “なちゅら”

来 賓 篠原孝衆議院議員、小林東一郎県議、高山恒夫飯山市議、中村明文中野市議、中村明県北信労政事務所長、山越伸明労金中野支店長、宇治川誠全労済北部支所係長

祝 電 羽田・杉尾各代議士、国民民主党県連、管内の市町村長から 10 通

参加者 25 団体・単組 558 名
(うち北信地連 19 単組・498 名)

決 議 メーデー宣言

集会は福本実行委員（北信地区労組会議副議長）の開会宣言、「晴れた五月」のメーデー歌合唱、小林正孝実行委員長に代わって村田実行委員（北信地連副会長）の招集挨拶に続き、来賓各位より連帯挨拶を受け祝電・メッ

セージ披露を行い、メーデー宣言は高山美恵さん（北信地区労組会議）より提案し、万雷の拍手で採択されました。

デモ行進隊は、2 グループ・6 梯団に編成し小雨模様のなか会場を出発、J R 飯山駅を南端に市街地中心部から愛宕町（通称：仏壇通り）を経て会場へ戻る 50 分程度のルートで行いました。

会場に戻ってからのアトラクションは、参加団体・単組提供の景品を含めた抽選会を実施し、引き続きプラカード・デコカーコンクールの表彰、最後に村田実行委員の発声により全員で“団結がんばろう”を三唱して北信地区メーデーを閉会しました。



実行委員長あいさつ 【代理挨拶：連合長野高水地協北信地連副会長 村田 光広】



挨拶する村田実行委員

平成から令和へと元号が変わる大型連休の初日に、各単組の組合員の皆さんをはじめ多くの方々にご参加をいただき感謝を申し上げます。メーデーは、1886 年の 5 月 1 日にアメリカのシカゴで 1 日・12 時間～15 時間もの勤務が当たり前だった労働環境を改善するため、労働者がストライキを起こし、8 時間労働の実現を要求したことに由来します。以降、労働者たちが集まり権利を主張する場として各地へ広まり、現在では「労働者の団結と主張の場」から「働く全ての仲間の祭典」へ、時代の流れとともに変化をしています。さて、昨年は 1 月に起きた草津白根山の噴火に始まり 5 月の長野県北部地震や 6 月の大阪北部地震、そして 7 月には広島を中心に中国・四国地方などで起きた集中豪雨、さらに台風 21 号や 24 号など、自然災害が多く発生した年となりました。自然災害に対しては「人は無力」であり、日頃からの「備え」と「人の絆」の重要性をあらためて痛感しており、今なお避難生活を余儀なくされている方々の一日も早い復旧・復興を望むばかりです。私たちは労働運動の原点ともいえる「助け合い・支え合い」のもと、被災地の「復興と再生」を引き続き支えていくとともに被災地の皆さんをはじめ、全国の仲間と連携した取り組みを継続していかなければなりません。

日本経済は、2012 年末から緩やかな回復が続けるとされ、現在保護主義という考えの中で経済への不安が広がり、内部留保は更に増え続けています。そのため、人件費の伸び率は鈍く、労働分配率は大きく低下しており、労働者世帯の名目賃金は伸びているものの、2017 年度での可処分所得は 2011 年度比で約 2%減、消費比率も約 4%減となっています。私たちは、社会の不条理や格差の拡大を許さず、社会経済の原動力である「働くこと」の価値を高め、働く者が安心して働き続けることができる「社会的セーフティー・ネット」こそが、政府

の成長戦略の核心であることを強く訴えています。持続可能な「安心社会」を実現するため、あらゆる職場で労働組合の社会的意義を積極的にアピールし、働く仲間を増やす運動を展開しましょう。

今、安倍政権は益々独裁的な政治に突き進んでいます。私たちは「働き方改革」「高度プロフェッショナル制度」などにも見える、国民主権を無視した悪政推進の根元はどこにあるかを見極め、政治革新の運動を進め国民主権の真の民主主義を取り戻しつつ、すべての労働者が安心して働ける「働くことを軸とする安心社会」にすることです。そのため政権与党に対し、社会的逆風のうねりを巻き起こし働く者の立場に立った政治勢力の拡大運動を継続していきます。また、今年は 12 年に一度の選挙の年であります。統一地方選挙につきましては、これまでに我々が送り出した代表がすでにご活躍をされておりますし、この 7 月には国政に我々の意志を伝える重要な「第 25 回参議院議員選挙」が施行されます。「経済」「産業政策」「雇用の安定と拡大」「安心の社会保障制度の確立」など、各産別の組織内候補者の必勝を期し、全力を挙げて取り組むこととします。働く者の仲間を国政の場に送るべく、皆さんのご支援を最後までお願い致します。

世界各地では未だに自由と平和を脅かす状況が続き、地域紛争や非情なテロが後を絶ちません。私たちはいかなる国においても紛争やテロを許さず、「平和の構築」「貧困の撲滅」「格差の是正」に向けて力を結集し、行動しなければなりません。日本は、今年で戦後 74 年が経ちます。日本にいる全ての人の生活が、この平和の上に成り立っていることを改めて認識し、二度と戦争を繰り返してはならないという平和への誓いを次世代に継承し、今後も平和運動を力強く訴えて行きます。

私たちは、すべての働く仲間とともに「長時間労働の撲滅」「ディーセント・ワークの実現」「支え合い助け合い」、そして「暮らしの底上げ実現」をめざし、働くことを軸とする安心社会を切り拓くため、第 90 回メーデーの成功を祈念し、実行委員会を代表してのあいさつと致します。共に頑張りましょう。



臨席されたご来賓の方々



会場を出発するデモ行進隊



行進時のパフォーマンス表彰

□ 須高地区メーデー（須高地区大会）

例年通り、地域の労働団体・単組が結集する「統一メーデー」として開催しており、参加団体・単組は二地点に分散集合してデモ行進を行いながら、会場の百々川緑地公園に集合しました。

日 時 2019 年 4 月 27 日（土）午前 10 時～
集 合 芝宮神社・須坂市役所の二地点に分散

※デモ行進は午前 9 時に同時出発

会 場 百々川緑地公園

来 賓 須坂市長、市町村議会議員、各参加団体・政党支部代表者、労金・全労済代表者

祝 電 国会議員、市町村長などから 6 通

参加者 20 団体・単組 750 名

4 月 27 日(土)の晴天の下、須高各地区より 20 団体約 750 名が集い、第 90 回メーデー須高地区大会が百々川緑地公園で開催されました。集会前には、市役所と芝宮神社の 2 コースに分かれてデモ行進を行い、「働く者の賃上げ」「ワークルールの実現」「核兵器廃絶」などの

シュプレヒコールで、市民の皆さんに呼びかけました。集会後に行われた抽選会では、くじを引くごとに会場内は一喜一憂し、特賞の 3 万円分旅行券が引かれると歓声とため息が交錯、たいへんに盛り上がりました。

実行委員長あいさつ 荻原 公和(連合長野高水地域協議長、須高地連会長)

4 日後に終わる「平成」を振り返ると、元年(1989 年)には消費税が導入され税率は 3%、さらに 5%から 8%となり、今年 10 月には 10%への引き上げが予定されるなど、消費税率を上げて法人税減税や高額所得者の所得税率の引き下げにより、増税分は相殺されてしまい、財政再建などできるわけがありません。また、大きな地震が多く発生した時代でもありました。平成 7 年に阪神淡路大震災、平成 23 年の東日本大震災は大きな津波が甚大な被害をもたらし、東電福島第一原発事故が起こり原発の安全神話が崩壊した事故でした。さらに翌日は県北部地震が発生、平成 28 年には熊本地震が発生しました。また、豪雨などによる自然災害も数多く発生しています。これらの災害により、今尚避難生活を余儀なくされている方々がたくさんいます。改めて被害に遭われた皆さんにお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く普段の生活に戻ることを願って止みません。

政治では、戦後続いた 55 年体制が崩れ 2 回の政権交代がありました。平成 5 年は非自民の連立政権である細川内閣、翌年には村山内閣が誕生しています。平成 21 年には、当時の民主党が衆議院選挙で 300 を超える議席を獲得し政権につきました。国民の期待が大きかっただけに僅か 3 年で自民党に政権を明け渡したことが残念でなりません。そして、平成 24 年に今の政権になってからは皆さんご存知の通り「特定秘密保護法」「安全保障関連法」「共謀罪法」など数々の悪法を強引に成立させました。それ以外にも農業や漁業、食物の種や水に関する法律を次々に改定しています。数の力で暴走を続けている「安倍政権」によって、私たちの安心・安全な生活が脅かされているのです。冒頭に消費税の話をしました。私たちは毎月の賃金から所得税や住民税を払い、これ以外にも様々な税金を払っています。本来、その税金は私たち国民が幸せに暮らせるために使わなければ

なりませんが、残念ながら今の政治はそうはなっていません。私たちは政治に不満があるから、しっかりと意思表示をなくてはなりません。それは選挙で投票に行くことです。

既に実施された統一自治体議員選挙です。須坂市議選、小布施町議選はいずれも無投票でしたが、県議会議員はこれまで自民党系に 2 議席を独占させてしまったものの、本年 4 月の長野県議選では 4 年前と同じ轍を踏まないよう、昨年 6 月から労働団体や政党・市民団体で話し合いを続け、前議長の小林君男さんを擁立して選挙戦を闘った結果、トップ当選を果たすことができました。そして、7 月には参議院選挙が予定されています。強大な権力を持った政権に勝つためには、この県議選のように野党の力を結集し、市民と協力していくことが大変に重要です。

平成の 30 年間、平和を享受してきた私たちは新しい「令和」や、それ以降もこの平和を繋いでいく責任があります。平和憲法や労働者保護ルールを守り、次に繋げていくためにひとり一人の小さな行動が大きな力になっていくのです。そのためにも選挙の際は必ず投票に行く、ひとり一人が行動することを本日参加されている皆さんで確認しようではありませんか。

最後に、昨年に続き、今年も生活困窮者支援のためにフードドライブの取り組みを行いました。須高地区においては、これからも「今だけ・金だけ・自分だけ」ではなく、思いやりの気持ちを大切に労働団体の枠を超えて私たちができる様々な運動を展開していきますので、引き続きのご協力を切にお願いし、実行委員会を代表しての挨拶とさせていただきます。ともに頑張りましょう。



挨拶する荻原実行委員長



臨席されたご来賓の方々



全員で団結ガムパロウ



コーラス隊の皆さん

メーデー宣言

本日、私たちは 90 回目の記念すべき北信地区メーデーを開催した。メーデーは 1886 年に米国の労働者が 1 日 8 時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。日本のメーデーは、1920 年 5 月 2 日に第 1 回が開催された。その後、戦争などで禁止に追い込まれたが、第二次世界大戦後、働く者の団結と連帯によってメーデーは復活し、労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展などをめざし継続され、本日 90 回目のメーデーを迎えることができた。“8 時間は労働のために、8 時間は睡眠と休息のために、残り 8 時間は自分のため

に”という、メーデーの原点や意義を改めて振り返り、全ての仲間が団結・連帯することの重要性を認識しよう。

東日本大震災・長野県北部地震から 8 年、御嶽山噴火災害、神城断層地震から 4 年、熊本県を中心とする九州地震から 3 年が経過し昨年も各地で地震や豪雨、台風などの大規模な災害が立て続けに発生した。依然として多くの人たちが不自由な生活を強いられている一方、被災地では支え合い、助け合いの輪を広げ、一歩ずつ前を向き歩み始めている。私たちは、引き続き災害を風化させることなく、防災・減災などの取り組みとあわせ、被災地の復興と地域の安全を守る運動を展開していく。

この 4 月から、改正労働基準法をはじめとする、働き方改革関連法が施行された。誰もが健やかに安心して働き続けられるよう、36 協定の遵守など真に働く者のための働き方改革を確実に遂行していかなければならない。また、これまでの「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続するとともに、社会的セーフティネットの拡大・強化により、子ども・子育て支援、医療、介護など、政策・制度の実現を通じて将来不安の解消にも取り組む。「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざして、労働者福祉事業団体や NGO・NPO などの諸団体と連携を強化していこう。

世界の労働者の労働条件と生活水準の改善を目的に創設された国際労働機関（ILO）が本年 100 周年を迎えた。「労働は商品ではない」と ILO が 1944 年の総会で採択したフィラデルフィア宣言（国際労働機関の目的に関する宣言）は、完全雇用や社会福祉の向上など、第二次世界大戦後の ILO の活動基本方針となったものである。新たな 100 年に向けて、仕事の世界の課題に対し、政労使が適切に取り組むことができるよう、労働の“これから”について世界的な対話の促進をはかろう。

現在、貧富の格差拡大に加え、平和・人権を脅かす言動が見受けられるなど、不安が高まっている。世界の恒久平和に向けた運動の強化とともに、「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成のために、すべての仲間の連帯と国内外の関係諸団体との連携によって、平和・人権を守り、笑顔あふれる未来に向けて、全力を挙げて取り組んでいかなければならない。

メーデーは、全ての働く仲間とその家族が主役である。私たちはメーデーの起源を心に刻み、力を合わせ、心をつなげて、「暮らしの底上げ実現」に向けて、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

以上

2019 年 4 月 27 日

第 90 回北信地区メーデー

第 90 回メーデー須高地区大会



提案する風間なみ子さん
(北信地区労組会議)

高水地協事務所の移転準備始まる



昨年、事務所の大家さんから「貸家の建屋が古く耐震構造になっていないため、賃貸契約を解除したい」との申し入れがあり、借

家の窓口である北信地区労協において移転先の候補地を当たってもらいましたが、家賃や立地など条件面の折り合いがつかず、しばらく手付かずの状況が続いていたものの、最終的には県労協に相談して住宅生協に借家候補地選定を依頼することとなりました。それにより、信州中野商工会議所道向かいの「ふくろやビル」一階フロアを北信地区労協との

共同入居となります。なお、当初は 5 月末日の移転を予定していましたが、改装工事などの都合により 6 月上旬に延期される見込みです。また、現借家の「北信地区労働者福祉会館」には、私たちのほか北信地区労組会議と中高地区労連の 4 団体が入居しておりますが、2 団体は別の移転先で共同入居の予定です。



住 所：中野市中央 1 丁目 9 - 1 5

屋 号：ふくろやビル（一階フロア）

面 積：事務室は約 30 m²を折半で使用。他に洗面所などのホール（12.4 m²）があります。

以上